昭和大学新聞

学校法人　昭和大学
発行人　小口勝司
電話（3784）8000　〒142-8555
東京都品川区旗の台1の5の8
1部50円　毎月1回発行

新学長に久光 正 氏

任期満了（7月27日）に伴う昭和大学学長選考会議の結果、小出良平学長の後任として、久光正副学長が就任した。任期は令和元年7月28日から令和4年7月27日の3年間。

学長　久光　正

学長就任のご挨拶

このたび小出良平学長の任期満了に伴い開催されました学長選考会議のご推薦、理事会でのご承認をいただき、昭和大学第14代学長の大任を拝命いたしました。もとより、その責任の重大さをひしひしと感じております。皆さま方のご援助、ご鞭撻をいただき任務を全うする覚悟であります。

昭和大学は昭和3年（1928年）の昭和医学専門学校の設立以来、学祖上條秀介博士が唱えられました「至誠一貫」の学是の下、「真にまごころを込めて患者様方に尽くす医療人を育成することによって社会に貢献する」ことを目指して発展してまいりました。この精神は創立90周年を迎えた今日、医学、歯学、薬学、保健医療学の各分野に等しく受け継がれ、今や「至誠一貫」の精神を共有する医系総合大学になりました。

昭和大学を庭園に見立てたとき、庭園のテーマは「至誠一貫」です。小さな庭が次第に広くなり、花や木が増えました。現在は大きく4つの植栽群になり、それぞれが重なり合って一つの庭になっています。大学は教育と研究を行う機関です。素晴らしい教育実績という花が咲き、優れた研究成果という果実が実る活気ある庭園を作るには、植栽の剪定や肥料の追加は勿論、必要に応じて、接ぎ木や場合によっては植え替えが必要かもしれません。そしてなにより大切なのは全ての植栽が自らの元気・活力で枝や葉を精一杯広げることが出来るよう手入れや手当てをすることだと思います。

本学は医療人育成の場、研究推進の場として8つの病院、4つの研究所のほか多数の付置施設を有しています。各施設の活性度をさらに高め、それぞれの連携を発展の為に重要な課題であると考えます。

令和という新しい時代を迎え、昭和大学には新たな風が吹こうとしています。多くの方々のご指導、ご鞭撻を頂戴し、明るく活力に満ちた本学の発展に尽力することをお誓いし、学長就任のご挨拶といたします。

久光　正（ひさみつ ただし）

【略歴】

昭和52年	昭和大学医学部卒業
〃　56年	昭和大学大学院医学研究科博士課程修了
平成元年	昭和大学医学部第一生理学助教授
〃　4年	昭和大学医学部第一生理学教授
〃　20年	学校法人昭和大学理事
〃　24年	昭和大学医学部長
〃　29年	昭和大学副学長、昭和大学富士吉田教育部長、昭和大学医学部附属看護専門学校長

前学長　小出良平

学長退任に際して

任期満了に伴い本年7月27日をもちまして、昭和大学学長を退任いたしました。

この6年間、学長として多忙な生活ではありましたが、大過なく無事に務めることができました。これもひとえに皆さまのご尽力のおかげであり、心より感謝申し上げます。

私が就任しました平成25年は、富士吉田教育部長と総括病院担当理事を兼務しておりました。この年の寮祭当日の6月22日（土）に富士山がユネスコの世界遺産に登録されるという報道があり、富士吉田校舎の皆さんと喜んだことを思い出します。

また、病院関係では江東豊洲病院の建設が挙げられます。その始まりは、平成22年3月31日（水）の本学と東京都江東区（山崎孝明区長）との新豊洲病院設備事業協定の締結にあります。平成23年6月に着工し、平成26年3月24日（月）の朝7時30分に職員全員参加してテープカットと写真撮影をしました。認可された病床は従来の豊洲病院（161床）を超える300床でした。江東豊洲病院の皆さんの努力が実って、今年の5月に400床となり、計画当初の認可数となっています。

学務関係では、平成25年に設立した昭和大学特別奨学金制度が挙げられます。これは、医学部、歯学部、薬学部の3学部における4年次の成績優秀者に対して、5、6年次と大学院の学納金相当分を給付するもので、本奨学金の受給者が20年後、30年後の本学を担っていく人材になることが期待されます。平成26年より施行され、今年で6年目を迎えます。

また、他校との連携を推進し、さまざまな連携活動を実施してきました。その内容は、授業の相互参加、実習受け入れ、上條記念館の緞帳原画制作や各種グッズのデザイン、学内行事への音楽演奏、スポーツ選手のメディカルチェック・講習会など多岐にわたります。今後も各校との連携がますます広がっていくことを期待しています。

結びになりますが、昭和大学のますますの発展と日本一の医系総合大学を目指して、One Showaを忘れずに社会に貢献する医療人を貫いて下さいますよう祈念しております。

女性骨盤底センター開設祝賀会が開催

6月14日、新横浜国際ホテルにて「第15回　昭和大学横浜市北部病院　地域医療連携フォーラム　女性骨盤底センター　開設記念講演会・祝賀会」が開催された。

横浜市北部病院に開設された同センターは、尿失禁、骨盤臓器脱など、女性の骨盤底障害に起因する疾患を主に扱うほか、間質性膀胱炎などの診断・治療も行う、昭和大学における女性泌尿器科疾患に特化した専門的なセンターである。同センターには排尿障害を専門とし、30年以上の研鑽を積んできた嘉村康邦センター長を含め4名の医師が診療・治療にあたる。

女性骨盤底センター　センター長　嘉村康邦

女性のいわゆる“おしもの不具合”はなかなか相談しにくく、このため多くの女性が受診をためらってしまうと言われています。また、“おしもの不具合”を抱える女性は非常に多いのにもかかわらず、いわゆる女性泌尿器科を専門とする施設は極めて少ないのが現状です。

女性骨盤底センターは、まさしく“おしもの不具合”を専門に扱うセンターです。当センターの最大の特長は、女性泌尿器科領域を専門とする泌尿器科医および産婦人科医が同じセンター内で、共同で診断・治療に当たることです。もちろん直腸肛門外科の応援が必要であれば、消化器外科との連携も可能です。

さらに、スタッフとして骨盤底筋トレーニングを専門的に指導可能な理学療法士を配し、手術療法のみならず、質の高い理学療法、行動療法などの保存的治療も行えます。

保健医療学部の入試制度変更
選択科目に「国語」が追加

本学は来年度入試から、保健医療学部看護学科および作業療法学科の一般選抜入試（Ⅰ期・Ⅱ期）の学力試験で、数学必須から数学または国語（現代文のみ）の1教科選択に変更する制度を導入する。文系からの受験者も多くいるなかで、国語を選択目に追加することでチャンスを広げ、さまざまな学力・可能性を持った学生を募集していく。

【看護学科および作業療法学科一般選抜入試（Ⅰ期・Ⅱ期）の制度変更概要】

1. 従来の「英語必須・数学必須・理科1科目選択」から「英語必須・数学または国語から1教科選択・理科1科目選択」に変更します。
2. 国語の範囲は国語総合（現代文のみ）とします。
3. 数学か国語かは出願時に選択し、その後は変更できません。
4. 英語・数学または国語・理科1科目の合計点で学力試験は評価するため科目による有利不利はありません。

※ほかに推薦入試、センター利用入試、センター利用地域別選抜入試等さまざまな入試制度があります。
※詳細は入学試験要項を必ず確認してください。

8月号の内容

1面
- 久光正学長就任のご挨拶
- 小出良平前学長退任のご挨拶
- 女性骨盤底センター開所式
- 保健医療学部入試制度変更

2面
- 鬼塚名誉教授が「山上の光賞」を受賞
- 杉崎名誉教授が日本腎臓学会上田賞を受賞
- 就任のお知らせ
- ホームカミングデーのご案内
- 学園祭チャリティーバザー物品ご寄付のお願い
- 上條記念館グランドオープン記念公演のお知らせ

3面
- 科学研究費助成事業採択課題一覧

4面
- 夏季スポーツ大会壮行会
- 富士吉田キャンパス寮祭
- 昭和大学サポート寄付金寄付者氏名・上條記念館座席プレート申込み状況
- タニノクロウさん公演のお知らせ

〔問合せ先〕
【本紙について：総務課出版係】
03-3784-8059
press@ofc.showa-u.ac.jp
【各種募金・寄付・90周年事業について：企画課】
03-3784-8387
【学事について：学務課、大学院課、入学支援課】
03-3784-8022（旗の台）
0555-22-4403（富士吉田）
045-985-6503（横浜）
03-3784-8026（入学支援課）